

東京スタイル、サンエー・インターの重複機能一元化

店舗開発、ウェブ事業部門を統合

基盤整え、来期から攻め

TSIホールディングス

TSIホールディングスは10月1日付で組織を再編し、事業会社である東京スタイルとサンエー・インター・ナショナルの店舗開発・ウェブ事業部門をTSIの営業本部に一元化する。既に人事、財務・経理などの管理部門や生産・物流部門などを統合しており、今回の組織再編によって両社で重複する機能の一元化をほぼ完了させる。今期(13年2月期)中に経営基盤を整え「来期からTSIグループとしてのシナジーを本格的に発揮し、新たな事業拡大につなげる」(廣瀬啓二取締役営業本部長)考えだ。

10月1日付でTSIの営業本部内に店舗開発部を新設し、東京スタイルの店舗開発本部とサンエー・インターの店舗開発部の機能を移管・集約する。同時に、同本部内にWeb戦略事業準備室を新設し、両社のウェブ関連の組織と機能を一元化する。

新設する店舗開発部への機能の一元化によって「孫会社を含むグループ内の取引先小売業に関する情報を共有化し、迅速な出店や業態開発につなげる」。取引先との交渉窓口も一本化する。

両社で別々になっていた事業戦略や広告宣伝、販売員教育などの販売統括の組織も「来期中にTSIの営業本部内に一元化する」方針。これによって、M&A(企業の合併・買収)や新規ブランド・事業開発、ブランドポートフォリオ編成や取り扱いブランドの商標管理、販促などを「TSIとして本格的に進める」。例えば、これまでサンエー・インター単独ではできなかった大型M&A(企業の合併・買収)も、TSI全体の資金力を活用すれば実現可能になる」という。来期から海外企業との業務提携や衣料品・服飾維

貨以外の分野を含め、複数の新規事業開発に取り組む。東京スタイルとサンエー・インターで連動した業態開発も進める。百貨店向けに、両社のキヤリアブランドを複合して編集したショップを開発することも検討している。Web戦略事業準備室は、外部コンサルタントを室長に起用し「EC(電子商取引)だけでなく、O to O(オンライン・ツール・オフライン)を含むウェブ戦略全般を新たに組み立てる」。サンエー・インターの自社通販サイト「セレクトソニック」の仕組みを基盤にした新たなプラットフォーム作りに着手、来期から本格的に稼働させる。